

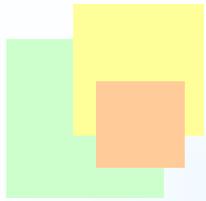
2009年5月期

第2四半期 決算説明資料

2009年1月9日



 **三菱産業株式会社**
(証券コード:3321)



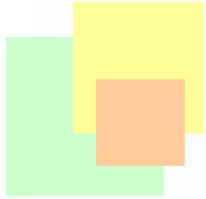
目次

- ◆ 2009年5月期 第2四半期（累計）
決算概要
- ◆ 2009年5月期 通期業績見通し
- ◆ 当社を取り巻く環境および今後の
見通し

[参考] ミタチ産業グループの概要

※将来の予想に関する注意事項

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。



2009年5月期
第2四半期（累計）
決算概要

第2四半期(累計)連結決算実績

Creative Innovation
for the Future

(単位:百万円)

	2007年5月期 第2四半期(累計)		2008年5月期 第2四半期(累計)		2009年5月期 第2四半期(累計)		前年 同期比
		百分比		百分比		百分比	
売上高	14,958	100.0%	19,257	100.0%	15,001	100.0%	-22.1%
売上総利益	1,425	9.5%	1,681	8.7%	1,319	8.8%	-21.5%
販売費及び 一般管理費	1,086	7.2%	1,174	6.1%	1,112	7.4%	-5.4%
営業利益	338	2.3%	506	2.6%	207	1.4%	-59.0%
経常利益	397	2.7%	517	2.7%	248	1.7%	-51.9%
四半期純利益	224	1.5%	244	1.3%	115	0.8%	-52.7%

分野別 第2四半期(累計)連結売上実績

Creative Innovation
for the Future

(単位:百万円)

	2007年5月期 第2四半期(累計)		2008年5月期 第2四半期(累計)		2009年5月期 第2四半期(累計)		前年 同期比
		構成比		構成比		構成比	
自動車	6,802	45.5%	8,087	42.0%	6,248	41.7%	-22.7%
民生	—	—	—	—	4,127	27.5%	—
アミューズメント	2,533	16.9%	3,878	20.1%	1,896	12.6%	-51.1%
その他	5,622	37.6%	7,291	37.9%	2,728	18.2%	-6.0%
合計	14,958	100.0%	19,257	100.0%	15,001	100.0%	-22.1%

※2009年5月期より「その他」から民生分野向け売上高を「民生」として分離。前年同期比は「その他」に含めて計上。

品目別 第2四半期(累計)連結売上実績

Creative Innovation
for the Future

(単位:百万円)

	2007年5月期 第2四半期(累計)		2008年5月期 第2四半期(累計)		2009年5月期 第2四半期(累計)		前年 同期比
		構成比		構成比		構成比	
半 導 体	4,953	33.1%	5,558	28.9%	4,300	28.7%	-22.6%
液 晶	1,178	7.9%	1,772	9.2%	782	5.2%	-55.8%
電 子 部 品	2,222	14.8%	1,867	9.7%	1,719	11.5%	-7.9%
ユニット・アセンブリ	4,453	29.8%	6,387	33.2%	5,268	35.1%	-17.5%
そ の 他	2,150	14.4%	3,670	19.0%	2,929	19.5%	-20.2%
合 計	14,958	100.0%	19,257	100.0%	15,001	100.0%	-22.1%

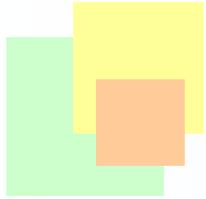
第2四半期末 連結貸借対照表

Creative Innovation
for the Future

(単位:百万円)

	2008年5月期 期末	2009年5月期 第2四半期末	増減
流動資産	11,229	9,609	-1,620
現金及び預金	1,237	1,078	-159
受取手形及び売掛金	7,430	5,913	-1,516
たな卸資産	2,181	2,296	+115
その他流動資産	379	320	-59
固定資産	1,677	1,673	-3
資産合計	12,906	11,283	-1,623
負債	7,940	6,282	-1,658
支払手形及び買掛金	4,934	4,027	-906
有利子負債	2,421	1,752	-669
その他の負債	584	502	-82
純資産	4,966	5,000	+34
株主資本	4,955	4,979	+23
その他の純資産	10	21	+10
負債純資産合計	12,906	11,283	-1,623

自己資本比率
44.3%



2009年5月期 通期業績見通し

通期 連結業績見通し

Creative Innovation
for the Future

(単位:百万円)

	2008年5月期		2009年5月期						
	通期		上期		下期		通期		
	実績	百分比	実績	百分比	予想	百分比	予想	百分比	前期比
売上高	37,034	100.0%	15,001	100.0%	12,198	100.0%	27,200	100.0%	-26.6%
売上総利益	3,245	8.8%	1,319	8.8%	1,050	8.6%	2,370	8.7%	-27.0%
販売費及び 一般管理費	2,314	6.3%	1,112	7.4%	1,047	8.6%	2,160	7.9%	-6.7%
営業利益	930	2.5%	207	1.4%	2	0.0%	210	0.8%	-77.4%
経常利益	950	2.6%	248	1.7%	21	0.2%	270	1.0%	-71.6%
当期純利益	493	1.3%	115	0.8%	-35	-0.3%	80	0.3%	-83.8%

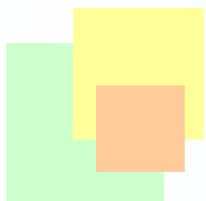
分野別 通期連結売上見通し

Creative Innovation
for the Future

(単位:百万円)

	2008年5月期		2009年5月期						
	通期		上期		下期		通期		
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	予想	構成比	前期比
自動車	15,926	43.0%	6,248	41.7%	5,141	42.1%	11,390	41.9%	-28.5%
民生	—	—	4,127	27.5%	2,112	17.3%	6,240	22.9%	—
アミューズメント	7,180	19.4%	1,896	12.6%	3,023	24.8%	4,920	18.1%	-31.5%
その他	13,927	37.6%	2,728	18.2%	1,921	15.8%	4,650	17.1%	-21.8%
合計	37,034	100.0%	15,001	100.0%	12,198	100.0%	27,200	100.0%	-26.6%

※2009年5月期より「その他」から民生分野向け売上高を「民生」として分離。前期比は「その他」に含めて計上。



当社を取り巻く環境および 今後の見通し



自動車分野の キーワード

安全

情報

環境

快適

- ◆ 自動車分野は当面厳しい環境が続く見通しであるが、環境配慮型の自動車需要については比較的底堅く推移する見通し。
- ◆ カーナビゲーションは今後ますます多機能化が進み、さらなる進化を遂げる見通し。
- ◆ 当社はエンジンやブレーキ制御、キーレス向け等、さらなるエレクトロニクス化の伸展に備え、新規商材の拡充や採用部品の増加、海外展開への対応など、より一層の営業基盤強化に向けて尽力していく方針。



民生分野の キーワード

光革命

環境

省エネ

高耐久

- ◆ 民生分野においては、同分野向け光半導体（LED）の受託生産が景気後退の影響もあり、足元は不透明な状況。
- ◆ 中・大型液晶のバックライト（光源）向け需要は現行のCCFL（冷陰極蛍光ランプ）からの切り替えが進む見通しであるほか、照明用途としての需要は今後も成長が期待され、中期的スパンではさらなる伸展を見込む。



アミューズメント分野の キーワード

安く

楽しく

長く

女性も

- ◆ アミューズメント分野は経済環境が厳しい中において、底堅い分野として今後の進展が期待される。
- ◆ 当社としては提案営業の強化を図り、顧客ニーズに対応した新規商材やユニット製品など高付加価値商品の受注拡大に努め、本分野へのさらなる深耕を図っていく方針。



その他の分野の キーワード

健康

変革

新規性

成長

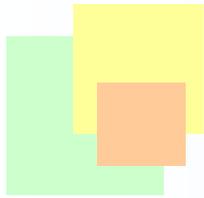
- ◆ 自社ブランド製品のさらなる拡充や海外商材を含む新規商材（ビジネス）の開拓に注力していく方針。
- ◆ 当社の技術力を活用したカスタム開発の受注拡大を推進。

今は“時代”の臨界点！

厳しい環境だからこそ、それを乗り越えた時には大いなる
飛躍へのチャンスが待っている。



- ◆ 技術商社・独立系商社としての強みを活かし、時代の変化に対応した新たなビジネス・サービスを展開。また特定の取引先の動向に左右されない企業体質づくりを推進。
- ◆ 組織やビジネスのスリム化を加速すると同時に他社との連携も視野に入れ、海外や新分野での事業展開を推進。



[参 考]
ミタチ産業グループの概要

会社概要

Creative Innovation
for the Future

本社所在地 : 名古屋市中区

設立年月 : 1976年7月（創業年月：1972年9月）

資本金 : 5億2160万円

代表者 : 代表取締役社長 橋 至朗

従業員数 : 連結619名、単独138名

上場市場 : 東証一部・名証一部

事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造

※2008年11月末現在



グループの構成

ミタチ産業グループは国内2社、海外5社の計7社にて構成されています。



ミタチ産業

	主な機能・役割
ミタチ産業	半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
大洋電機	電子部品の製造、電子機器のOEM生産
M.A.TECHNOLOGY	光半導体、カーエレクトロニクス用制御基板、OA関連受託生産
美達奇(香港)	海外進出日本企業および現地企業向け電子部品の販売
台湾美達旗	電子部品の国内向け調達
敏拓吉電子(上海)	電子機器・部品の国内向け調達
美達奇電子(深圳)	海外進出日本企業および現地企業向け電子部品の販売

主な取扱商品

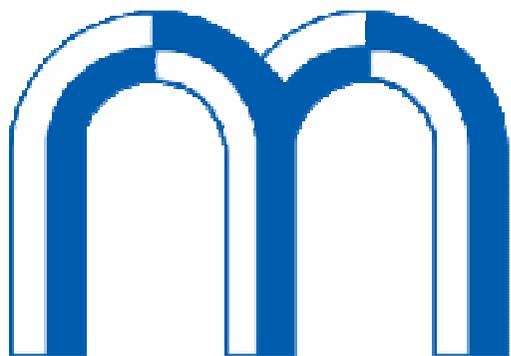
Creative Innovation
for the Future



社名の由来とシンボルマークについて

Creative Innovation
for the Future

《 当社シンボルマーク 》



▲ ガールの水道橋

ミタチの社名は「三つ（お客様、仕入先様、当社）で立つ」という三位一体の精神に由来しています。

そして当社のシンボルマークは、ミタチの頭文字でもある「M」と「ガールの水道橋」のアーチの形をモチーフに生まれました。「ガールの水道橋」は、ローマ帝国の時代に生命をつなぐ水を運ぶという大きな使命を果たしました。2000年の時を超え、なお存在し続けるこの橋のように、「いつまでもお客様と仕入先様をつなぐ架け橋でありたい」と願う当社の経営理念が、このシンボルマークに凝縮されています。

ミタチの精神的基盤となっている5つの「経営哲学」

顧客第一主義

人間尊重

一流へのチャレンジ

創造的革新

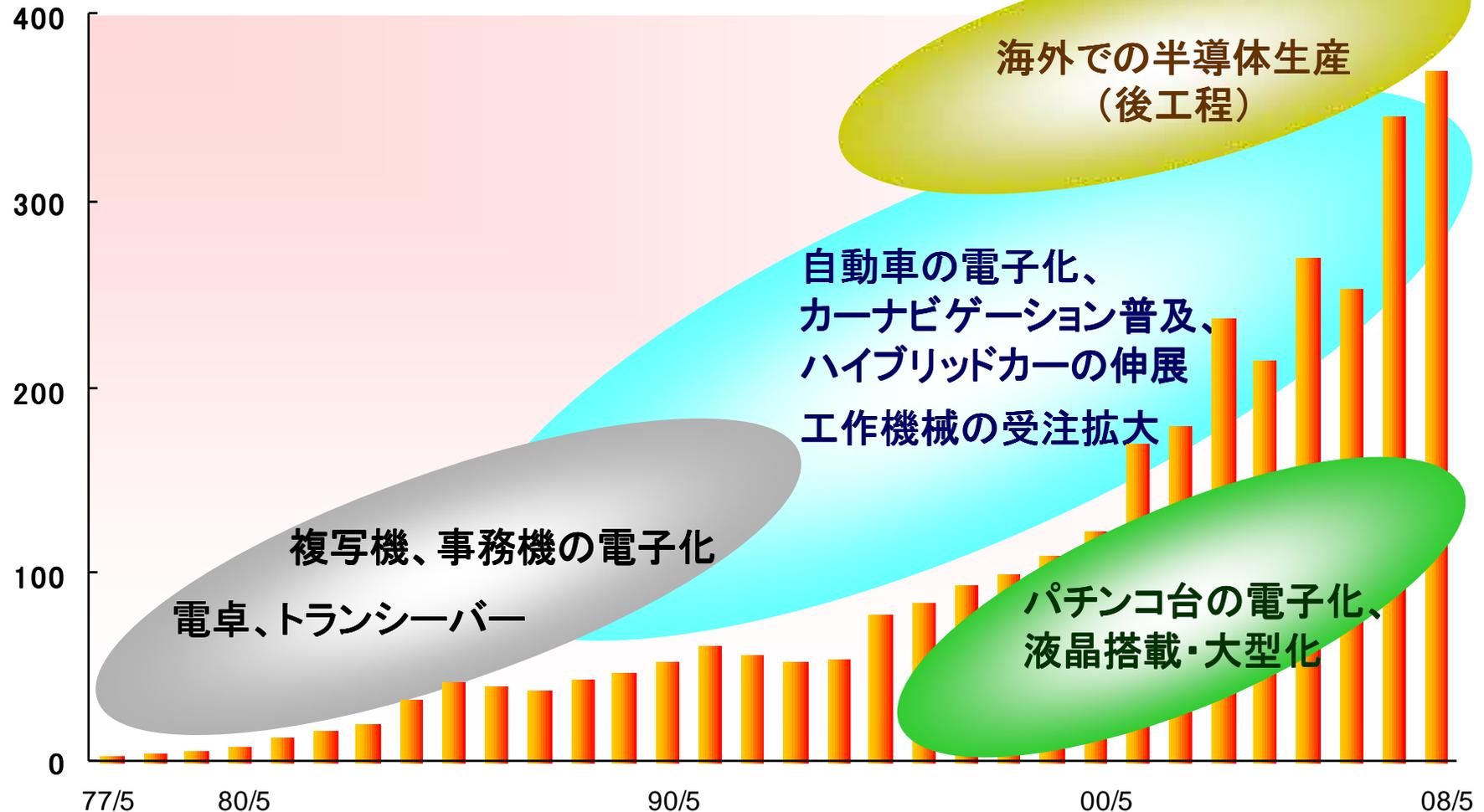
企業の社会的貢献

事業の変遷および業績推移

Creative Innovation
for the Future

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)





 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp>

お問合せ先：経営企画室

TEL：052-332-2512

URL：www.mitachi.co.jp/ir